

朝日・高根義務教育学校（仮称）整備工事 （解体）

図 面 リ ス ト		
図 番	図 名	縮 尺
0 1	特記仕様書（１）	—
0 2	特記仕様書（２）	—
0 3	特記仕様書（３）	—
0 4	仮設計画図（参考図）・付近見取図	1/500
0 5	改修前配置図	1/500
0 6	改修後配置図	1/500
0 7	外構撤去移設図	1/300
0 8	外構撤去移設リスト（１）	—
0 9	外構撤去移設リスト（２）	—
1 0	移設遊具詳細図（１）	1/40
1 1	移設遊具詳細図（２）	1/40
1 2	移設遊具詳細図（３）	1/40
1 3	移設遊具詳細図（４）	1/40・1/50
1 4	工事計画工程表	—

【原図はA 2 版とする】

A. 工事概要		B. 特記仕様書	
①工事名称	朝日・高根義務教育学校（仮称）整備工事（解体）	第 1 章 一般共通事項	
②工事概要	<div>朝日・高根義務教育学校（仮称）増築予定地周辺の支障物解体及び移設工事</div> <div><div><div>・解体物</div><div>・自然石彫り込み表札</div><div>・自然石緑石解体</div><div>・畑</div><div>・大型一方すべり台</div><div>・旗ポール</div></div><div><div>・自然石石組（大・小）</div><div>・樹木（高木・中木・低木）</div><div>・砂場枠</div><div>・グラウンド照明</div></div><div>※図示による</div></div> <div><div>・移設物</div><div>・4 人乗りブランコ</div><div>・5 枠×5 段ジャングルジム</div><div>・固定式平行棒</div><div>・移動式 3 連鉄棒</div><div>・石像</div></div> <div><div>・かさ型 6 人用ハント棒</div><div>・曲線平均台</div><div>・三間低鉄棒</div><div>・雲梯</div><div>・石像・石碑</div></div> <div>※図示による</div>		

・その他

・敷均し工事

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	特記仕様書（１）		
縮 尺	—	番 号	１４枚の内 〇１号
設 計 年月日	令和８年 ３月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

B. 特記仕様書

第 1 章 一般共通事項

⑮ 電気保安技術者

⑰ 施工中の安全確保

⑳ 環境保全等

㉑ 施工調査

㉒ 発生材の処理等

・適用する

○適用しない

① 建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等によるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従うとともに、「建設工事安全施工技術方針」を参考に、常に工事の安全に留意して現場代理人が管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

② 工事施工にあたっては、工事箇所並びにその周辺にある地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないような施工方法を定める。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。

③ コンクリート破損片や鉄筋、鉄骨の切断片等の飛散により、第三者及び作業員に危害を与えないよう、解体作業区域を関係者以外の立ち入り禁止区域とし、必要に応じて監視員を置くなどの措置を講ずる。

④ 工事現場内及びその周辺の安全巡視を行い、災害防止に努める。

建築基準法・環境基本法・大気汚染防止法・廃棄物処理法・土壌汚染対策法その他関係法令等によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い、工事の施工の各段階において、騒音・振動・粉塵・臭気及び大気汚染又は水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。

※施工計画調査

本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について事前調査、情報収集を行う。

（１）発生材の処理

（イ）発注者に引き渡しを要するもの

○あり

・なし

（引き渡す発生材 グラウンド照明器具）

（ロ）特別管理産業廃棄物

・あり

○なし

（処理方法 密封処理、湿潤化、埋立処分（管理型最終処分場）

（ハ）現場内再利用を図るもの

・あり

○なし

（再利用資源）

（ニ）再資源化を図るもの

○あり

・なし

（再資源化資材 コンクリート、木材）

（ホ）再資源化に努めるもの

○あり

・なし

（再資源化資材 金属くず）

（２）本工事は、特定資材を用いた建築物資等に係る解体工事又は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建築工事に係る資材の再資源化に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建築リサイクル法」という）施工令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事（以下「対象建設工事」という。）であるため、建築リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

① 分別解体等の方法 工程ごとの作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
① 建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
② 屋根葺き材	屋根葺き材の取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
③ 外装材・上部構造	外装材・上部構造材の取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
④ 基礎	基礎取り外し □ 有 □ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
⑤ その他外構	その他の工事 ■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材の種類	施設の名称	所 在 地
コンクリート	飛騨リサイクルセンター	高山市松之本町1020-1
木材	佐合木材	高山市松倉町2343-1

※ 上記については、設計での想定施設であり、指定施設ではない。

③ 分別解体・再資源化等が完了したときは、以下の事項を書面（再資源化等報告書）に記載し、監督職員に報告すること。
・再資源化等が完了した年月日 ・再資源化等を行った施設の名称及び住所 ・再資源化に要した費用

（３）発生材処分に係る提出書類について

着工前

① 廃棄物処理委託契約書（写）
② 収集運搬、中間処理、最終処分業者の許可書（写）

完成時

① 廃棄物処理委託契約書（写）
※但し、工事完了までに監督職員に提示し、確認を受けた場合は省略することができる。
② 写真 廃棄物積み込み時、運搬車両、中間処分場搬入時

（４）照明器具はロット番号又は分析調査からPCB使用の有無を確認し、使用品については安定器又はコンデンサーを取り外し、指示された場所へ、保管箱に整理し、調書とともに監督職員に引き渡す。

（５）大気汚染防止法に基づく、特定建材使用建築物解体工事に係る手続きを適正処理すること。

第 1 章 一般共通事項

㉓ 近隣との折衝

㉔ 既存部分等への処置

㉕ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出

㉖ 技能士

㉗ 実施状況の報告

㉘ 施工

㉙ 施工の確認及び報告

㉚ 施工の検査等

㉛ 完成時の提出書類

㉜ 軽微な変更等

㉝ 下請負契約

㉞ 重点監督対象工事

㉟ 実施状況の提出

㊱ 工事書類の簡素化

㊲ 事故報告

㊳ 埋設物の注意

㊴ 適正燃料の仕様

工事着手前に近隣住民に対し、工事の施工上必要な折衝を前もって行い、監督職員に遅滞なく報告すること。
尚、工事の前後に近隣家屋の調査を行い、工事騒音等によるひび等の損傷が見られた場合は、監督職員に報告するとともに誠意を持って対応する。

工事施工に伴い、既存部分等への汚染又は損傷を与えた場合は、監督職員の指示に従い受注者の責任において早急に構造及び仕上げを原形に復旧すること。それに要する費用は全て受注者の負担とする。

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督職員に提出し承認を得ること。又工事完了時に同計画書の実施報告書を監督職員に提出すること。

・適用する

○適用しない

受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに実施状況を提出することができる。

設計図書・施工計画書および監督職員の承諾を受けた実施工程表に従って行う。

各階段の施工が完了したとき又は工程の途中において監督職員の指示を受けた場合は、その施工が設計図書に適合することを確認し、適時、監督職員に報告する。なお、確認及び報告は監督職員の承諾を受けた者が行う。

設計図書に定められた場合、1.5.2により報告した場合及び監督職員より指示された工程に達した場合は、監督職員の検査を受ける。

（１）書類

発注者が受注者に提示する「工事施工に関する提出書類について」に基づき作成する。

（２）完成図

○提出する

・提出しない

（３）保全に関する書類

・提出する

○提出しない

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状・寸法の軽微な変更は、監督職員の指示による。尚、この場合請負金額の変更は行わない（本図書に記載なき構造物においても撤去（本工事）とする。尚、特大構造物の取扱いについては、係員と協議の上決定する）。

（１）本工事において下請負契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年第100号）に規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。下請負者は高山市入札参加資格停止の処置がされていない者を選定すること。

（２）本工事において工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料についても高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては岐阜県産品）を選定するよう努めること。

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いに従うこと。

受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに実施状況を提出することができる。

工事書類の簡素化にあたっては「工事書類簡素化要領」に基づいて実施すること。

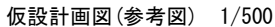
工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に提出すること。

基礎及び土間の撤去工事に当たっては、解体建物の直下及び範囲の地中に埋設されている配管を破損させないように注意すること。

（１）ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。

（２）ディーゼルエンジンを動力とする車両燃料検査があった場合には協力すること。

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	特記仕様書（2）		
縮 尺	—	番 号	14枚の内 02号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

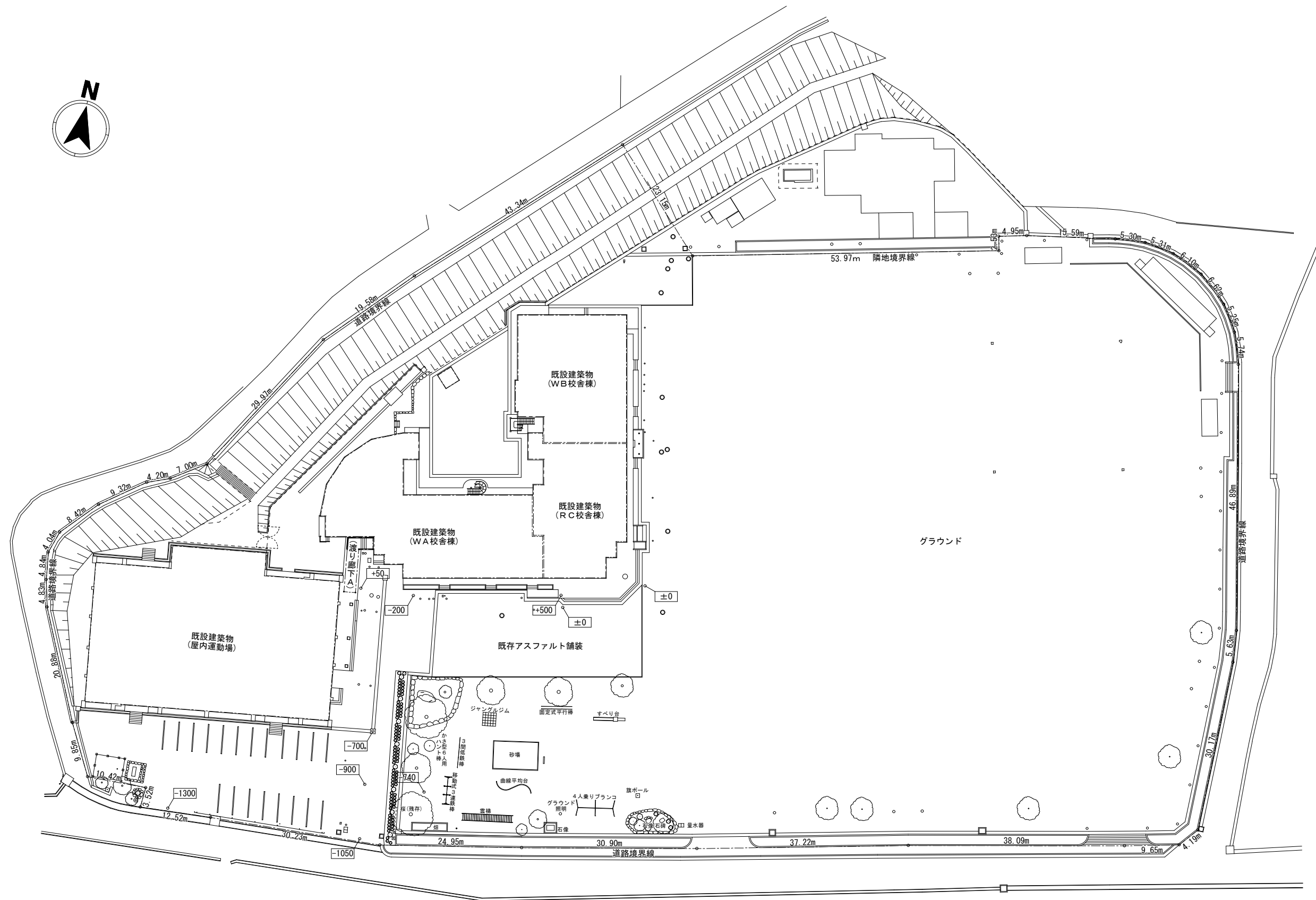


記 号	名 称	仕 様
-- 仮囲い --	仮囲いH2000	支柱単管φ1800、控え単管、捨て単管 メッシュシート張 又は ガードフェンス張
ゲート WW...②	搬出入ゲート	キャストゲート：片開き、W6000×H1800
⇐	搬出入経路	資材搬出入、工事車両進入
⇐	児童動線	

仮設計画について

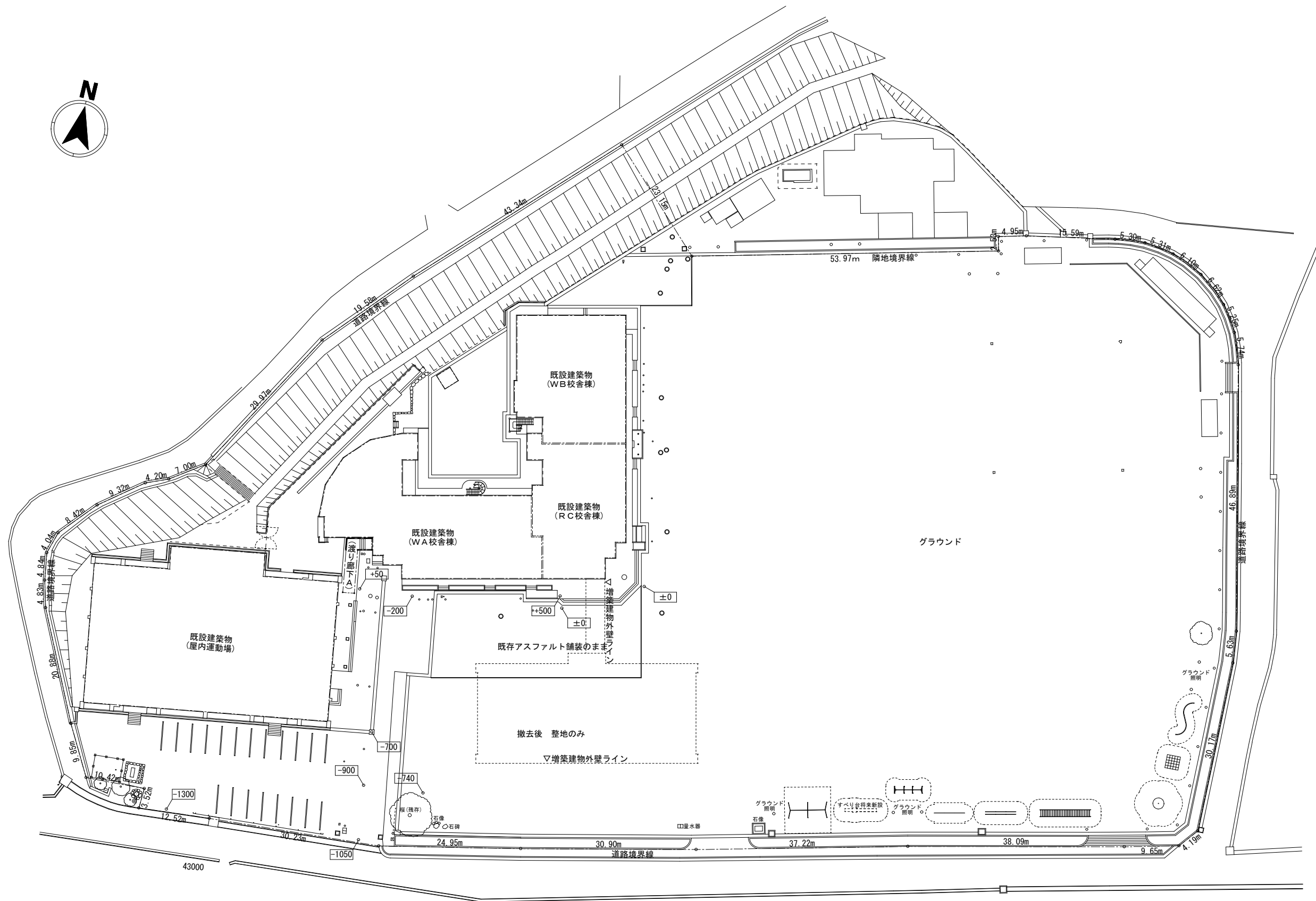
1. 仮囲いは作業用地の周囲を隙間のないように設置すること。強風等による転倒を防止する対策を十分に講ずること。
2. 仮設現場事務所・仮設駐車場・仮設トイレ等の設置は、事前に監督職員の承認を受けること。
3. 資材搬出入や大型車両の乗入れは登下校時を避けること。また、工事車両の乗入れ時は必要に応じて進入経路に交通誘導警備員を配備すること。
4. 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・ホコリ・運搬等により施設及び近隣に迷惑を掛けないように対策を充分に講ずること。
5. 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中的ホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所等は原形復旧すること。
6. 搬出入経路、作業エリア及び駐車場等に使用したグラウンドは整地を行う。

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	仮設計計画図(参考図)・付近見取図		
縮 尺	1/500	番 号	1 4 枚の内 〇 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



敷地面積 19846.84m²

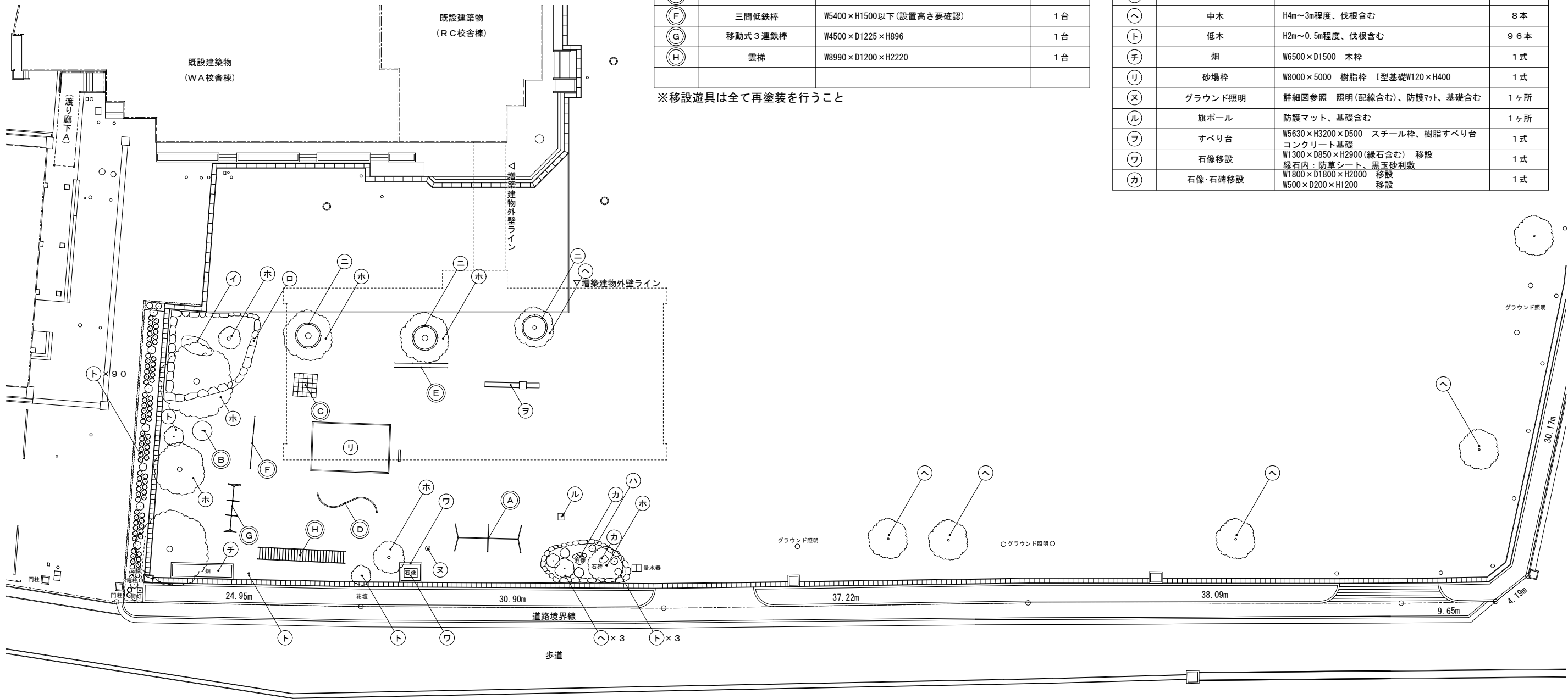
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	改修前配置図		
縮 尺	1/500	番 号	1 4 枚の内 0 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修後配置図 1/500

敷地面積 19846.84㎡
※遊具の配置については監督職員の承認を受けて決定すること

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	改修後配置図		
縮 尺	1/500	番 号	1 4 枚の内 0 6 号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



移設遊具リスト			
記号	名 称	仕 様	参考数量
Ⓐ	4人乗りブランコ	座板、チェーン新設 W6830×D2950×H2500	1台
Ⓑ	かさ型6人用ハント棒	Φ2000×H3000	1台
Ⓒ	5枠×5段ジャングルジム	W2250×D2250×H2280	1台
Ⓓ	曲線平均台	W5000×D3500×H300	1台
Ⓔ	固定式平行棒	W5800×D450×H800～1200(設置高さ要確認)	1台
Ⓕ	三間低鉄棒	W5400×H1500以下(設置高さ要確認)	1台
Ⓖ	移動式3連鉄棒	W4500×D1225×H896	1台
Ⓗ	雲梯	W8990×D1200×H2220	1台

※移設遊具は全て再塗装を行うこと

撤去移設外構リスト			
記号	名 称	仕 様	参考数量
Ⓘ	自然石彫り込み表札	W3500×D1700×H1800	1式
Ⓚ	自然石石組(大)	W10000×D10000×H1000 自然石	1式
Ⓢ	自然石石組(小)	W9000×D4000×H500 自然石	1式
Ⓝ	自然石縁石	W300×D300×H300	22.6m
Ⓛ	高木	H10m～5m程度、伐根含む	7本
Ⓟ	中木	H4m～3m程度、伐根含む	8本
Ⓣ	低木	H2m～0.5m程度、伐根含む	96本
Ⓣ	畑	W6500×D1500 木枠	1式
Ⓡ	砂場枠	W8000×5000 樹脂枠 I型基礎W120×H400	1式
Ⓝ	グラウンド照明	詳細図参照 照明(配線含む)、防護マット、基礎含む	1ヶ所
Ⓡ	旗ポール	防護マット、基礎含む	1ヶ所
Ⓝ	すべり台	W5630×H3200×D500 スチール枠、樹脂すべり台 コンクリート基礎	1式
Ⓣ	石像移設	W1300×D850×H2900(緑石含む) 移設 緑石内:防草シート、黒玉砂利敷	1式
Ⓚ	石像・石碑移設	W1800×D1800×H2000 移設 W500×D200×H1200 移設	1式

外構撤去移設図 1/300

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(解体)		
図 名	外構撤去移設図		
縮 尺	1/300	番 号	1 4 枚の内 〇 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

名 称	イ：自然石彫り込み表札（撤去）	ロ：自然石石組（大）（撤去）	ハ：自然石石組（小）（撤去）	ニ：自然石縁石（撤去）
姿 図				
備 考	W3500×D1700×H1800	※盛土は側溝へ流出しない程度に整地を行う W10000×D10000×H1000 自然石、盛土	※盛土は側溝へ流出しない程度に整地を行う W9000×D4000×H500 自然石、盛土	自然石 W300×D300×H300
名 称	ホ：高木（撤去）	ヘ：中木（撤去）	ト：低木（撤去）	
姿 図				
備 考	H10m～5m程度、伐根含む	H4m～3m程度、伐根含む	H2m～0.5m程度、伐根含む	

工事名	朝日・高根義務教育学校（仮称）整備工事（解体）		
図 名	外構撤去移設リスト（１）		
縮 尺	—	番 号	１４枚の内 ０８号
設 計 年月日	令和８年 ３月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

